

伊達博物館改築事業費

(単位：千円 (税込))

項 目		実施設計概算費 (R 5/8時点)	実施設計概算費 (R 6/1時点)	
第2期都市再生整備計画事業	設計費等	建築設計費	135,000	135,000
		展示設計費	48,000	48,000
		CM業務	42,000	42,000
		土質調査費・用地測量費	14,000	14,000
		小 計	239,000	239,000
	工事費等	建設工事費	3,450,000	3,850,000
		工事監理費	61,000	90,000
		展示製作業務費	800,000	800,000
		小 計	4,311,000	4,740,000
	合 計		4,550,000	4,979,000
市単独	開館準備費	資料移設費	150,000	150,000
		備品・開館準備費		
合 計		150,000	150,000	
第3期(予定)	跡地整備費	現博物館解体費	150,000	150,000
		公園整備費		
	合 計		150,000	150,000
総 合 計		4,850,000	5,279,000	

財源内訳

(単位：千円 (税込))

項 目	実施設計概算費 (R 5/8時点)	実施設計概算費 (R 6/1時点)
国庫支出金 【都市構造再編集中支援事業】	2,176,000	2,176,000
市債 【合併特例事業債(充当率95%、交付税導入率70%)】	2,340,000	2,697,000
一般財源	334,000	406,000
合 計	4,850,000	5,279,000

市の実質的な負担額	1,036,000	1,215,000 (+179,000)
-----------	-----------	-------------------------

○建設工事費増額(34.5億円→38.5億円)の要因

①物価高騰等に伴う増額

- ・最新の資材単価、労務単価等への置き換え(R5.4月→R5.10月)の反映
- ・すべての見積を再度徴収し、実勢価格を反映
- ・最近の物価等の上昇傾向を参考に、R6.4月の単価改定(見込)も考慮

②仕様の見直しによる減額

- ・実施設計が完了していることから、意匠性、機能性を担保した上で、屋根の材料や外構などを見直すことにより、可能な限り減額

○工事監理費増額(6,100万円→9,000万円)の要因

- ・委託料を積算するための「官庁施設の設計業務等積算基準(国交省)」が、より実態に合うよう5年ぶりに改定されたことに伴う増額